

体育科学習指導案

日 時 平成26年 5月19日 (月)
児 童 5年2組

1 単元名 ゴール型「ザースボール」

2 単元について

(1) 単元観

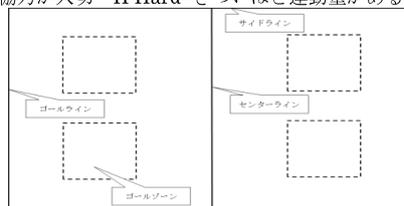
本単元は、小学校学習指導要領解説体育編における「E ボール運動 (ゴール型)」に位置付けられている単元であり、主に3つのねらいがある。1つ目は運動の楽しさや喜びに触れながら、簡易化されたゲームを通して、ボール操作やボールを受けるための動きによって攻防する技能を身に付けること。2つ目は、運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようになること。3つ目は、ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようになることである。

本単元で取り上げる「ザースボール」は、パスをする、キャッチするなどのボール操作 (技能)、スペースの移動や取り方、味方と相手の位置関係の認識 (思考・判断)、互いの声のかけ方 (態度) など、上記の3つのねらいの達成に迫るための内容によって構成される運動であり、子どもが主体的に活動に取り組むことが期待できるものである。

※ザースボール概略 (東海大学体育学部体育学科より)

Z Zeal=プレーに熱中する A Active=活発に動く R Rapid=素早いパス回し T Teamwork=協力が大切 H Hard=きついほど運動量がある

- ・パスだけでボールをつなぐスポーツ
- ・スペースの中にボールキャッチと同時に入れれば得点となる
- ・攻撃と、守備のプレーヤーがいる
- ・スペースの中ではとどまってはいけない
- ・守備のプレーヤーはオールコートでプレーできるが、攻撃のプレーヤーは守備コートでプレーすることはできない
- ・使用するコートはバスケットボール用コート
- ・ミッドラインを設けずに、センターラインを設け攻撃コートと守備コートの境目とする。
- ・その他のルールは、ザースボールルールブックに準ずるものとする。



(2) 児童観

積極的に運動に取り組む児童がいる反面、運動が好きではないと感じている児童が20%近くいる。5年生時に行ったバスケットボールでは、ボール操作、スペースを見つけて動く、チームとして活動することの難しさなど課題が多く見つかったことで、運動そのものの面白さに気付くことができず、運動に熱中できない児童がいた。

そこで、本単元で取り上げる「ザースボール」を通して、運動の面白さに気付かせ、ねらいの達成に向かいながら、運動に熱中する姿を引き出していきたい。

(3) 指導観

子どもの実態、運動の特性などに応じた、魅力的な教材の提供〜①

上記子どもの実態と本単元におけるねらいを複合的に考え、本教材を扱うこととした。

「ザースボール」の魅力とは、「得点を競い合うこと」である。その魅力を味わうことで、技術的課題や戦術的課題に気付き、もっと得点を取るためにどうしたらよいか考えていくことができる。また、「ザースボール」の「パスのみでボールを運ぶ」という特性から、ドリブルやシュートをリングに入れるなどの課題が消え、スペースを探して動き、パスをもらうなど「ボールを持たない時の動き」についての課題に焦点化しやすいことが挙げられる。そのため、獲得させたい技能の習得に迫っていくことで、子どもの思考・判断を引き出しやすくなることが期待される。よって、チーム毎に課題を共有しやすくなり、自然に友達とのかかわり合いが生まれるようになり、そのチームで共有している課題の解決を行っていくことで、運動の面白さに気付きながら、運動に熱中する姿を引き出していくことができると考える。

単元の導入では、映像を通して本教材と出会い、運動の特性や、楽しそうな点と難しそうな点を浮き上がらせ、その上で試しのゲームを行い、運動の楽しかった点と難しかった点の自覚化を図っていく。難しかった点が「子どもたちの解決したい課題」となっていくことから、その点を教師が事前に予測し、その課題を解決するために必要になるだろう動き方をカードに整理しておく。(下図参照)。またその図はどのような状態を表しているのか理解しやすくなるよう動画を用意する。自分達の課題解決のために必要になるだろう課題をカードで可視化したり、映像を通して示したりすることによって、どのようなことを意識して動いていけばよいのかが明確になり、課題解決に向けて子ども同士のかかわり合う姿が見られるようになってきたり、全体で共有する場面において、他の課題を意識しているグループとの交流が可能になったりしていくと考える。

それらの課題意識が明確になった子どもたちの思いが実現していくように、課題解決に向けて練習をする場を毎時間授業の前半に設定していくこととする。実際の自分達の動き方を確かめ合い、課題解決に向けて、子ども同士でかかわり合い、できることが増えていくことによって、運動の面白さに気付き、運動に熱中していく姿を引き出せるようにしていきたい。

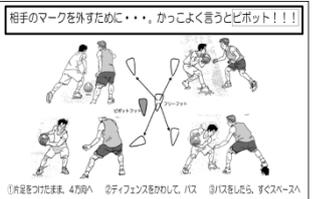
予想される課題

- ・キャッチした後動けない。
- ・パスが相手まで届かない。
- ・すぐにカットされてしまう。
- ・守備に囲まれてしまう。
- ・ボールを持った時どうしたらよいか分からない。
- ・ボールを持っていないときどう動いたらよいか分からない。
- ・ゴールゾーンを囲まれる。



ボールをキャッチしてすぐ動けない...

- ①膝を曲げて、腰を落とす
 - ②右にも左にも動けるように
 - ③パスは右にも、左にも、上にも、下にもできるように
- かっこよく言うと
ドリブルスレット!!!



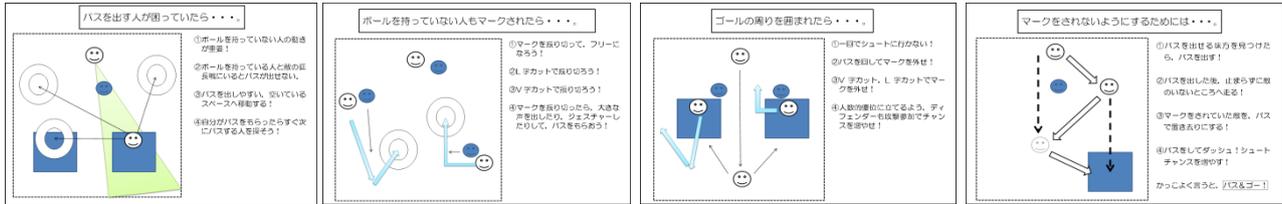
相手のマークをはずすために...かっこよく言うとヒット!!!

- ①前足でボールを蹴る
- ②フィニッシュをかわして、パス
- ③ひざをたたく、すくスペース



得点に繋げるパスをするために...

- ①遠くからスペースへ
- ②近くからスペースへ
- ③下からスペースへ
- ④上からスペースへ
- ⑤キャッチは強み込むように



肯定的・矯正的フィードバックにかかわって有効な指導言葉の適用～II

毎時間の運動で楽しかったことを言語化していく。運動の楽しさを言語化することで、運動を楽しむためにはどうしたらよいかが見えるようになる。本単元で言う運動の楽しさとは「ゴールを決めること」であり、ゴールを決めるために味方同士でどのように動かすか考えたり、パスの仕方を考えたりすることができるようにしていく。

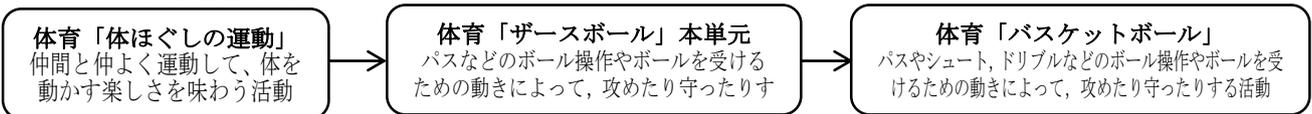
例えば、今日の楽しかったことの振り返りをした時「ゴールを決めたこと」となれば、「どうやってゴールゾーンまで行ったの?」と問い返すことによって、「ボールを運ぶ時には、相手のいないところを探して動いたんだ。」「速攻を使ったんだ。」など、子どもたちがゴールを決めるために必要な動き方が自覚されていく。運動が楽しくなった要因とそのための動き方を言語化し、その言語をもとに肯定的・矯正的フィードバックを行っていく。また、その言語化したものを次時につながる考えとして可視化し、クラスの財産として教室に掲示するなど、いつでも意識できるようにしていく。

運動技術の「こつ」を見つける場と伝え合う場の設定～III

本単元で出てくる課題を学級で共有するために、振り返りの場を毎時間設定する。どうして楽しく運動ができたのかを振り返ることで子どもたちの課題意識が明確になっていくと考える。振り返りをする場は、毎時間の終末であったり、課題解決に向けた練習の後であったりと、単元の中で適宜設定していくこととする。

また、運動の楽しさについて言語化してきたものの蓄積し、可視化していくことで自己評価や相互評価が自然に生まれていくと考える。その姿が運動の「こつ」を伝え合う姿となっていくようにする。その際、動き方が図式化されたカードを活用し、運動の「こつ」を伝えやすいようにしておく。

3 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり



4 単元目標

パスなどのボール操作やボールを受けるための動きによって、攻めたり守ったりすることができる。

5 評価規準及び道徳的学び

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全への思考・判断	運動の技能	道徳的学び
ア ルールやマナーを守って、安全にゲームをしようとする。 イ 進んで練習やゲームに取り組もうとする。 ウ 用具の準備や片付け、ゲームの審判など、分担した役割を果たそうとする。	ア 楽しいゲームの行い方やルールを理解している。 イ 自分のチームの特徴に応じた攻め方がわかり、作戦を立てている。	ア 作戦を意識しながら、適切な位置からパスをすることができる。 イ 作戦を意識しながら、適切な位置に動いて、ボールを持った味方からパスを受けることができる。 ウ 適切な位置に動いて、相手の得点を防ぐことができる。	2- (3) 信頼友情 みんなが楽しめるように自分のチームに合った作戦を立てたり、友達と協力し助け合いながら練習やゲームを行ったりする。

6 単元計画 (全6時間)

時	学習活動	教師の働きかけ・留意点	評価
1 2	<p>【オリエンテーション】 目標ルールを知って、運動の楽しさを探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、ザースボールの魅力を探す。 運動の楽しそうな点と難しそうな点を話し合う。 <p>ドリブルができ ないんだね。</p> <p>ゴールは簡単に決 められるかも。</p> <p>うまくボールが扱 えるか不安だな。</p> <p>【試しのゲーム】 目標ルールを確認し、運動の楽しさと難しさを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールの確認を行う。 ゲームの中で感じた運動の楽しさや難しさを整理する。 学習の進め方、ゲームのルール、運営の役割、チームの役割などを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元の運動の特性を児童といっしょに整理し確認を行う。I ボール運動の経験を想起させ、得点を決めたとき喜び合ったり、称賛し合ったりしていることをもとに得点を決めることに運動の楽しさを感じられるようにする。II 自主的な活動を目指しゲームスケジュールを提示する。 自分の役割を意識して運動している児童に対して価値付けをする。 ゴールに結びつく動き、パスを受けるときの動きができていない児童に対して価値付けする。III 	関ア 思ア 関ア 関イ

	<table border="1"> <tr> <td>パスがうまくできたぞ。</td> <td>たくさん得点ができて楽しい。</td> <td>ゴールできずに楽しくなかった。</td> </tr> <tr> <td>ボールにたくさん触ったよ。</td> <td>キャッチがうまくできなかった。</td> <td>どこに動いていか分からない。</td> </tr> <tr> <td>パスを受ける人がたくさん動いてくれたよ。</td> <td>キャッチをする練習をしないとだめだね。</td> <td>動く場所を友達が教えてくれたから動けたよ。</td> </tr> <tr> <td>点を決めるには、パスを素早く回そう。</td> <td>敵にマークされたらどう動けば良いのかな。</td> <td>動き方がわかった。練習するとき気をつけよう。</td> </tr> </table>	パスがうまくできたぞ。	たくさん得点ができて楽しい。	ゴールできずに楽しくなかった。	ボールにたくさん触ったよ。	キャッチがうまくできなかった。	どこに動いていか分からない。	パスを受ける人がたくさん動いてくれたよ。	キャッチをする練習をしないとだめだね。	動く場所を友達が教えてくれたから動けたよ。	点を決めるには、パスを素早く回そう。	敵にマークされたらどう動けば良いのかな。	動き方がわかった。練習するとき気をつけよう。	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの中で楽しくできたときは、どんなときだったか、言葉で整理する時間を設ける。また、難しかった点も含めて整理し、課題を明確にする。Ⅰ, Ⅲ 出てきた課題に対して、どうすれば解決できるか話し合い、必要に応じて、図式化された動き方を提示し、理解しやすいようにする。Ⅰ, Ⅲ 今後、練習する場を設けることを伝え、練習方法を確認し次時へ繋げる。Ⅰ 	思ア			
パスがうまくできたぞ。	たくさん得点ができて楽しい。	ゴールできずに楽しくなかった。																
ボールにたくさん触ったよ。	キャッチがうまくできなかった。	どこに動いていか分からない。																
パスを受ける人がたくさん動いてくれたよ。	キャッチをする練習をしないとだめだね。	動く場所を友達が教えてくれたから動けたよ。																
点を決めるには、パスを素早く回そう。	敵にマークされたらどう動けば良いのかな。	動き方がわかった。練習するとき気をつけよう。																
3 本時	<p>【学習課題の確認】【練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> チームごとの課題を確認する。 課題解決に向けてチーム毎練習に取り組む。 <table border="1"> <tr> <td>パスをうまく回せるように練習しよう。</td> <td>ゴールゾーンの中でキャッチを練習しよう。</td> <td>敵をパスする相手との間に入れないように動こう。</td> </tr> </table> <p>【ゲーム】目標ゲームでできるだけたくさんゴールを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> チームで練習したことを発揮できるようにゲームに参加する。 分担された役割を果たす。 得点に結びつくように、積極的に動く。 <table border="1"> <tr> <td>パスがうまくできたぞ。</td> <td>たくさん得点ができて楽しい。</td> <td>ゴールできずに楽しくなかった。</td> </tr> <tr> <td>パスした後、動かずにいた。</td> <td>ゴールゾーンを囲まれてゴールが決まらない。</td> <td>どこに動いていか分からない。</td> </tr> <tr> <td>パス回しが素早くできて楽しかった。</td> <td>敵に囲まれたらどうすればいいんだろう。</td> <td>ボールを持っている人が困っているときがある。</td> </tr> </table> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するためにどうしたらよいか話し合い、次時への見通しをもつ。 <table border="1"> <tr> <td>パスをもらう人は、空いているスペースに動く。</td> <td>囲まれる前に、パスをして、すぐ動き出す。</td> <td>自分のチームでもスペースを見つけてパスをつないでいこう。</td> </tr> </table>	パスをうまく回せるように練習しよう。	ゴールゾーンの中でキャッチを練習しよう。	敵をパスする相手との間に入れないように動こう。	パスがうまくできたぞ。	たくさん得点ができて楽しい。	ゴールできずに楽しくなかった。	パスした後、動かずにいた。	ゴールゾーンを囲まれてゴールが決まらない。	どこに動いていか分からない。	パス回しが素早くできて楽しかった。	敵に囲まれたらどうすればいいんだろう。	ボールを持っている人が困っているときがある。	パスをもらう人は、空いているスペースに動く。	囲まれる前に、パスをして、すぐ動き出す。	自分のチームでもスペースを見つけてパスをつないでいこう。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な活動を目指しゲームスケジュールを板書する。 課題に応じた動き方をカードで確認できるようにしておく。Ⅰ パスの仕方や、スペースの使い方などについて言葉かけを積極的に行う。Ⅱ, Ⅲ 自分の役割を意識して運動している子に対して価値付けをする。 ゴールに結びつく動き、パスを受けるときの動きができていない子に対して価値付けする。Ⅱ ゲーム中、チームの課題に応じた声かけを意識的に行う。Ⅱ (キャッチの仕方、パスの仕方、ボールを持たない人の動き方など) ゲームの中で楽しくできたときは、どんなときだったか、言葉で整理する時間を設ける。また、難しかった点も含めて整理し、課題を明確にする。Ⅰ, Ⅲ ゴールを決めるためにどのような動きが必要か考える時間を設ける。また、その動きを練習できるように確認する。Ⅰ, Ⅲ 	関イ 思ア 関ウ 思イ
パスをうまく回せるように練習しよう。	ゴールゾーンの中でキャッチを練習しよう。	敵をパスする相手との間に入れないように動こう。																
パスがうまくできたぞ。	たくさん得点ができて楽しい。	ゴールできずに楽しくなかった。																
パスした後、動かずにいた。	ゴールゾーンを囲まれてゴールが決まらない。	どこに動いていか分からない。																
パス回しが素早くできて楽しかった。	敵に囲まれたらどうすればいいんだろう。	ボールを持っている人が困っているときがある。																
パスをもらう人は、空いているスペースに動く。	囲まれる前に、パスをして、すぐ動き出す。	自分のチームでもスペースを見つけてパスをつないでいこう。																
4 5 6	<p>【学習課題の確認】⇒【作戦会議】【練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> チームごとの課題を確認する。 課題解決に向けてチーム毎練習に取り組む。 <table border="1"> <tr> <td>パスした後すぐ動いて、パス繋げばチャンスができる。</td> <td>ゴールゾーンの裏を上手く使って練習しよう。</td> <td>敵をパスする相手との間に入れないように動こう。</td> </tr> </table> <p>【ゲーム】目標作戦を生かしてたくさんゴールを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> チームで作戦を意識しながら、攻めたり守ったりする。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームの中で気付いたことをもとに、チームの成果や課題を確認する。 <table border="1"> <tr> <td>フェイントを使ってマークを外そう。</td> <td>ゴール裏作戦で得点をたくさん決めよう。</td> <td>フリーの人を見つけたらすぐにパスを出そう。</td> </tr> </table>	パスした後すぐ動いて、パス繋げばチャンスができる。	ゴールゾーンの裏を上手く使って練習しよう。	敵をパスする相手との間に入れないように動こう。	フェイントを使ってマークを外そう。	ゴール裏作戦で得点をたくさん決めよう。	フリーの人を見つけたらすぐにパスを出そう。	<ul style="list-style-type: none"> 作戦盤や記録用紙、iPadを活用し、実際の動きや、役割を確認できるようにする。Ⅲ ボール操作やボールを持たない時の動きの中でよい動きをたくさん称賛していく。Ⅱ ゴールに結びつく動き、パスを受けるときの動きができていない子に対して価値付けする。Ⅱ ゲーム中、チームの作戦に応じた声を意識的に出していく。Ⅱ 攻撃と同じように、守備についても適切な位置に動いて相手の攻撃を防ぐなど、意識の変化が見られたときに価値付けを行う。Ⅱ ゴールを決めるためにどのような動きが必要か考える時間を設け 	思イ 技ア 技イ 思イ 技ウ									
パスした後すぐ動いて、パス繋げばチャンスができる。	ゴールゾーンの裏を上手く使って練習しよう。	敵をパスする相手との間に入れないように動こう。																
フェイントを使ってマークを外そう。	ゴール裏作戦で得点をたくさん決めよう。	フリーの人を見つけたらすぐにパスを出そう。																

<p>ロングパスで速攻を使おう。</p> <p>マイボールのときは、すぐに攻撃に切り替えよう。</p> <p>ディフェンスはゴール付近をしっかり守ろう。</p>	<p>ジグザグパスで敵のマークを振り切ろう。</p> <p>どんだんゴールゾーンに入っておとりになろう。</p> <p>パスカットしたら、すぐに攻撃しよう。</p>	<p>る。また、その動きを練習できるように確認する。Ⅰ, Ⅲ</p> <p>・チームの課題を意識した作戦になっているチームを全体で共有する。Ⅱ, Ⅲ</p> <p>・単元を通して、学んだものを蓄積し、チームの課題解決に向けて取り組んだ成果を全体のものとして共有し、その他の運動や日常に結びつくよう指導する。Ⅱ, Ⅲ</p>
<p>【取り組みや成果の交流】</p> <p>・ゲームの中で気付いたことをもとに、チームの成果や課題を確認し、その他の運動や日常に役立っただろうことを話し合う。</p>		

7 本時について（3／6時間目）

(1) 研究とのかかわり

本時においては、まず、Ⅰの視点で手立てを講じていく。チームの課題解決に向けた練習の行いや練習の場を提供する。教師が与えたものではなく、子どもが感じた課題に応じた練習方法（動き方）を図式化したカードで提示することで、実際に自分達の動き方を確かめ合い、意欲的に運動する姿が見られるだろうと考える。

手立てⅡ, Ⅲでは、運動の楽しさを振り返る場を設け、その際に出てきた言葉を整理していく。教師のフィードバックや授業の振り返りで出てきた言葉を全体で共有し整理することで、運動技術の「こつ」を見つける場になったり、自分自身の動きを確かめたりする時の拠り所になるだろうと考える。

(2) 本時の目標

ゲームを楽しみ、チームでより多くのゴールを決められるように、ゴールにつながる動き方を探していくことができる。

(3) 本時の展開

○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ・留意点	評価 個に応じた指導 (△発展的 ▲補充的)
<p>○前時の課題についてチームで話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の課題を解決できるよう練習しよう。 ・カードに書いてある動き方を何回も練習しよう。 <p>○準備運動を各チームで行い、チームごとの課題に応じた練習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスをする方向を定めないといけない。 ・パスを受ける人も動かないといけない。 ・キャッチが上手いけば得点になる。 <p>○学習のねらい、ゲームスケジュールを確認する。</p>	<p>□それぞれの課題に合った練習方法（動き方）がわかるカードを提示し、自分達の動きを確認する場とする。Ⅰ</p> <p>□課題に応じた動き方を確認しながら、パスの仕方、スペースの使い方について言葉かけを行っていく。Ⅱ, Ⅲ</p> <p>□本時の活動の流れを掲示しておく。Ⅰ</p>	<p>▲練習の際、課題を意識せずただ練習を楽しんでいる児童にはチームでの課題を確認させる。</p> <p>△話し合いの中で、動き方など作戦まで考えることができているチームは、ゴールを決めるための方法を整理し、他にもよい方法がないか探してもらおう。</p>
<p>ゴールに繋がる動き方をたくさん見つけ出そう。</p>		
<p>○ゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あのチームの守備が上手で攻撃ができなかった。 ・パスがたくさん繋がったね。 ・たくさん得点を取れて、勝ったよ。 ・パスを繋ぐためには、パスを受け取るの方が大切だね。 ・攻撃の切り替えを速くすると、チャンスが広がるね。 ・ゴール裏を使われると、得点をされやすくなってしまったな。 ・○○君を中心にパスをしているからマークをしよう。 ・パスカットされたら、みんなで声をかけて守ろう。 <p>○チームでゲームの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の楽しかったところは・・・ ・パスが繋がって得点できたこと。 ・○○さんがキャッチをして得点が入ったこと。 <p>○全体でゴールを決めるための動き方を交流し、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っていない人が、ゴールに向かったり、仲間を助けたりしながら動くことが大切だね。 ・囲まれる前にパスを出して、素早く動き出す。 ・ゴールゾーンの裏が空いていることが多いよ。 ・次回は、ゴールゾーンの裏を使って攻撃してみよう。 ・ゴールが決まらなくても、何度もゴールゾーンに飛び込んでいこう。 	<p>□ボール操作がうまくいっている児童、ボールを持たない時の動きがよい児童を積極的に称賛し、即時フィードバックを心がける。Ⅱ</p> <p>□ゲームの中で、楽しく感じた時はどんな時だったか、学習カードを用いて振り返りをしてもらう。Ⅲ</p> <p>□ゴールを決めるためには様々な方法があるということに触れ、確認された方法については、図式化されたカードで動き方を確認する。また、その動き方については言葉でも整理し、蓄積したものをクラスの財産としていくことを伝える。Ⅲ</p> <p>□必要に応じて、攻撃を防ぐことに目を向けた話をして次時の取り組みに生かせるようにする。Ⅳ</p>	<p>△ゲームの中で、よい動きを見つめることができる児童には、それを仲間の声援として積極的にアドバイスを送るよう促す。</p> <p>▲課題を気にせず、ただゲームに参加している児童には、具体的な動き方を伝え、チームの課題に気づけるよう矯正的なフィードバックを行う。</p> <p>【思考ア～観察、学習カード】</p> <p>△ゲームを楽しみ、ゴールを決めようと様々な動きをしていた児童を称賛し、よかった動きはどんな動きだったのか説明させ理解を深めよう。</p> <p>▲ゲームは楽しめたけど動き方をまだ理解していない児童には、ゴールを決めるためにどう動けばよいのか、図や映像を通して理解できるようにする。</p>

